

⑧ 調査報告書(共通評価基準)

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

項目番号	項目	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a • b • c
<コメント> 理念・基本方針はHP・パンフレット・園だより等で明文化されており、職員会議や入園説明会で職員や保護者への周知を図っています。		

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a • b • c
<コメント> 社会福祉事業全体の動向に関して市や自治体等から発信される情報を収集し、把握分析し保護者・職員の意向を確認しています。		
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a • b • c
<コメント> 経営課題に関して教育・保育の職員体制を含め労働環境について取り組みを進め、職員同士の検討の場を設定する等具体的な取り組みが進められています。		

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a • b • c
<コメント> 中・長期計画には理念や基本方針の実現に向けた目標が明確にされており、経営課題や問題点の解決・改善に評価・振り返りを行っています。		
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a • b • c
<コメント> 「全体的な計画」の中に実質の教育・保育に関する総合的な事業内容が、具体的に明確に示されています。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a • b • c
<コメント> 事業計画の策定については、年度始めに会議で原案を周知し、意見を踏まえ修正を行い策定されています。		
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a • b • c
<コメント> 事業計画に関しては、園内掲示板やICTを通じた園だより、保育参加行事等の折に説明し、保護者の理解と周知を図っています。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取り組み

I-4-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的・計画的に行われている。		
8	① 保育の質の向上に向けた取り組みが組織的に行われ、機能している。	a • b • c
<コメント> 保育の質の向上に向け、週会議や毎月の会議で出された意見を集約し、評価を組織的に行っています。自己評価や研修及び勉強会、第三者評価を毎年受審することで質の向上に繋げています。		
9	② 評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a • b • c
<コメント> 職員会議・リーダー会議等で各課題や改善策を文書化し、検討を行い次に活かしています。また、それらを朝礼や日誌等で伝達しながら職員全体で共有が図られています。		

## II 組織の運営管理

項目番号	項目	第三者評価結果
<b>II-1 管理者の責任とリーダーシップ</b>		
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a • b • c
<コメント>施設長の役割と責任については、事務分掌表にて明文化し、職員には年度初めの職員会議で表明しています。有事に関しても安全管理マニュアルの中で明確化されています。		
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a • b • c
<コメント>関係機関及び外部研修参加を通して法令への理解に努めています。福祉分野の法令の他、関係する法令等の研修を開催し職員に伝えるとともに、それらを反映した「全体的な計画」を作成し周知に努めています。		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取り組みに指導力を発揮している。	a • b • c
<コメント>管理者は、教育・保育の質向上について定期的・継続的に評価・分析を行い、把握した課題・職員の意見も含め、研修・職員の専門性の向上等キャリアアップのための研修やオンライン研修の機会を提供しています。		
13	② 経営の改善や業務の実効性を高める取り組みに指導力を発揮している。	a • b • c
<コメント>財務・労務等専門家のアドバイスを通して適切な運営にあたるとともに、働きやすい環境整備に努めています。また、ICTの導入とノンコンタクトタイムの充実化を図る等業務の効率化と推進に取り組んでいます。		
<b>II-2 福祉人材の確保・育成</b>		
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取り組みが実施されている。	a • b • c
<コメント>関連法人と提携し、方針の共有のもと人材育成の体制が確立、整備されています。入職後の定着や育成についても新人研修の充実を図り、働き方改革に努めています。		
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a • b • c
<コメント>「期待する職員像」に関しては「全体的な計画」に明記され、人事基準に関しては、就業規定に明記し職員にも説明し周知されています。職員の自己評価が実施されており、処遇への反映や自己の振り返りに活用されています。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a • b • c
<コメント>管理者は年2回の個別面談で意向や要望の把握に努め、職員が無理なく働ける体制や環境作りを努めています。働き方改革としてノンコンタクトタイムの導入、ICTの活用で業務の効率化を図るとともに、職員の福利厚生者の充実も図っています。		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取り組みを行っている。	a • b • c
<コメント>職員には「期待する職員像」について説明し周知しています。ヒアリングを基に自己評価にて目標を設定し、それを踏まえ年2回面談を行い目標達成の確認を行っています。その中で新人研修担当リーダーによる新人の育成にも力を入れています。		
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a • b • c
<コメント>事務分掌表にて職員の必要資格を明記し、年間研修計画を作成し、オンラインによる研修が実施されています。内部研修では動画等を取り入れ、職員の状況や実践での課題等を把握し計画に反映させるとともに、評価と見直しを行っています。		
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a • b • c
<コメント>職員個々の保育に関する知識やスキルは、管理者や主任が各クラスの保育に参加し、職員の状況を把握し一人ひとりに必要な階層別、テーマ別等外部研修(現在はオンライン)に参加できるようにしています。		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	a • b • c
<コメント>実習生の受け入れに関するマニュアルを整備し、実習指導の職員の研修・育成に努めています。各実習生に合わせ授業計画を作成し、実習生個人への課題にも対応をしています。		

## II-3 運営の透明性の確保

項目番号	項目	第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取り組みが行われている。		
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a • b • c
<コメント>園のホームページ等において、理念・基本方針・教育・保育・事業概要等を地域へ広く公表しています。また、第三者評価を毎年受審し、内容についても公表しています。		
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取り組みが行われている。	a • b • c
<コメント>園における事務・経理・取引に関するルールと事務分掌表・権限と責任を明記し、職員に周知しています。また、顧問契約の社会保険労務士や税理士から助言を得ながら運営しています。外部監査の結果(アドバイス)を受け改善に努めています。		

## II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取り組みを行っている。	a • b • c
<コメント>コロナ禍の影響により、地域との対面交流が減少しています。園は自治会に加入しており、地域の情報交換や交流の機会として園内で子育て支援イベントを計画・実施また、オンラインでの子育て講演等を行い、今できる交流を行っています。		
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a • b • c
<コメント>ボランティアの受け入れに関する基本姿勢は明文化しており、マニュアルの策定等体制が整えられています。各種ボランティアの受け入れがなされていますが、コロナ禍の状況を踏まえ、検討しています。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a • b • c
<コメント>県認定保育コーディネーターを配置し、社会資源に関するリストや資料について準備し、職員や保護者に周知、情報共有が図られています。子供支援センターや保健所保健部の定期訪問で園との積極的な連携も取られています。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a • b • c
<コメント>園として子育て支援イベントを地域向けに発信し、地域の親子に園を開放し交流を図っています。コロナ禍により開催は減少していますが、今年の講演会については、外部講師を招き実施しています。子育て相談に応じられるようHP等で周知しています。		
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公共的な事業・活動が行われている。	a • b • c
<コメント>園では関係機関との会議や地域行事等で得た情報をもとに、公益的な活動を実施しています。地域に向けた子育て講演会(オンライン開催)で参加者同士の交流・学び合いとともに子育てに関する相談窓口の設置に取り組んでいます。		

## III 適切な福祉サービスの実施

### III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a • b • c
<コメント>理念に基づく教育・保育の目標の中で、子どもを尊重した保育について明示しています。毎年、人権研修を実施して、子どもの尊重や基本的な人権の配慮について職員間での意識の統一化を図っています。		
29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a • b • c
<コメント>子どものプライバシー保護等については「全体的な計画」の中にも明記されており、職員会議において理解を促すとともに協議・検討する機会を設けています。また、子どもの虐待に関して大分市の虐待防止マニュアルに準拠しています。		
III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a • b • c
<コメント>園では教育・保育の内容や園の特性等を写真や図・絵等を用いて、わかりやすく且つ楽しいものとなるよう工夫し、パンフレットを作成、大分市のホームページや園のホームページで紹介しています。また、利用希望者の見学に丁寧な対応を行っています。		
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a • b • c
<コメント>園では教育・保育の開始や保育内容の変更時に、重要事項説明書等の資料を用いて説明を行い、保護者の同意を得ています。特に配慮が必要な保護者等への説明についても、個別の特性を踏まえつつ適切に説明しています。		
32	② 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a • b • c
<コメント>他の園等への変更にあたり、子どもに関する情報共有(口頭と文書)を行う等、保育の継続性に配慮しています。卒園後も気軽に相談できることを説明しています。		

項目番号	項目	第三者評価結果
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	① 利用者の満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取り組みを行っている。	a • b • c
<コメント>子どもの行動から見える背景(思い)に視点を合わせ、職員間で共有。保護者とも分かちあっています。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見を述べやすい体制が確保されている。		
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a • b • c
<コメント>苦情解決に基づく支援のマニュアル化がなされています。		
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a • b • c
<コメント>日常の表情や行動の変化をキャッチし、ケースに応じた支援(会話・個別面談/支援室)に取り組まれています。		
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a • b • c
<コメント>「保護者支援の原則」と相談対応マニュアルの周知～コミュニケーション力と信頼性の向上が図られています。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取り組みが行われている。		
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a • b • c
<コメント>社会情勢を加味したリスクマネジメント「危機管理マニュアル」の年次更新と研鑽、事例検討が行われています。		
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取り組みを行っている。	a • b • c
<コメント>感染症ガイドライン閲覧と勉強会、知識と技術の研鑽やオンライン研修による情報獲得に取り組んでいます。		
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取り組みを組織的に行っている。	a • b • c
<コメント>危機管理マニュアルに基づいた避難体制と対応訓練、生活環境に配慮した地域連携の仕組みが確立しています。		
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a • b • c
<コメント>「全体的な計画」を支援の柱に、保育の導きの明文化とPDCAサイクルの活用、振り返りを画一化しています。		
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a • b • c
<コメント>全体的な計画の年度末と初めの見直しを原点に、保育の各案の周知と検討の上、指導計画に反映されています。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	① アセスメントもとづく指導計画を適切に策定している。	a • b • c
<コメント>大学講師より指導計画やアセスメントの知識や方法を研鑽、重点的な習得と相互の周知、策定が図られています。		
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a • b • c
<コメント>指導計画や評価においては、定期的な振り返りと見直しを実施。緊急な課題は随時ミーティング対応としています。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a • b • c
<コメント>発達経過記録と未就学児を中心の個別計画作成。ドキュメンテーションリーダーによる周知体制が確立しています。		
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a • b • c
<コメント>個人情報に関する事項の画一的な措置を提示、実施。公的利用時の個別特定に関わる配慮が行われています。		

⑧ 調査報告書(内容評価基準)

A-1 保育内容

項目番号	項目	第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
1	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt; 全体的な計画は、行政の定めを踏まえ園長を中心に作成、全職員の協議により修正。現場に活きる過程をなしています。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt; 主体性に活動する子どもの姿にマッチ、考慮した環境設定。並びに行動の延長線を見据えた整備が行われています。</p>		
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt; 保育信条「各自の個差を考慮する」の実践に取り組んでいます。発達段階や興味、マイブームを支持、支援しています。</p>		
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt; 発達段階と個性が発揮しやすい環境設定への工夫と、長期的な視点を大切に援助、アイデアが活かされています。</p>		
5	④ 子供が主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt; 自主的な活動「自由感のある保育」に基づき自発的に環境と関わり遊びを展開できる環境整備、保育が行われています。</p>		
6	⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt; 身体的・社会的・精神的な発達の基盤を養い育てる「3つの視点」を意識した計画、導ける教育・保育を実施しています。</p>		
7	⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt; 子どもの特性による発達過程を踏まえ「5領域」に基づく保育活動、子どもの経験を可能とする援助が行われています。</p>		
8	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt; 自発的な遊びが学習であることを踏まえた個の経験を実践へと導ける援助、活動内容の可視化も行われています。</p>		
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt; ハード面の整備、関係機関との連携の仕組みづくり、専門性を活かせる資質保育者の養成等、学びを深めています。</p>		
10	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt; 個の現状に応じた援助、計画の反映に取り組み、保育者連携のスムーズな引き継ぎ体制が構築されています。</p>		
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt; 小学校訪問体験(年数回)を計画、実施。保育児童要録は園長他数名で担い、保育者との連携が保たれています。</p>		

を	項目	第三者評価結果
A-1-(3) 健康管理		
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a · b · c
＜コメント＞感染症マニュアル、保健計画を基に健康状態を把握。身体管理のITC化の活用、職員・保護者へ周知されています。		
13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a · b · c
＜コメント＞職員間での健康状態の共有、必要に応じ関係機関との繋がりを持つ。検診の記録と共に保護者へ伝達しています。		
14	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a · b · c
＜コメント＞アレルギー対応ガイドラインの閲覧。対象児童への支援体制の確立、文書化と研修、統一的な理解が図られています。		
A-1-(4) 食事		
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a · b · c
＜コメント＞食育計画に基づき食育リーダーを配置、食への関心を喚起する企画の計画。個別対応のランチ体制を設けています。		
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a · b · c
＜コメント＞食の実態把握、食育会議での発育に合わせた食の検討会。命を育む食材・食事を考える機会が持たれています。		

## A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a · b · c
＜コメント＞ITCアプリ内連絡ノート～保護者からの高評価。毎日のポートフォリオ閲覧や懇談会にて家庭と連携が図られています。		
A-2-(2) 保護者等の支援		
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a · b · c
＜コメント＞日々のコミュニケーションを重視、相談内容の記録により予防的機能を発揮、保護者の子育て力の向上に努めています。		
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a · b · c
＜コメント＞大学等との連携、虐待対応への取り組み意識を高めています。専門的関係機関との密な連携の仕組みが出来ています。		

## A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		
20	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a · b · c
＜コメント＞カンファレンス会議では発表ワークを通じた次の実践に活かせる話し合いが持たれ、自己評価にも取り入れています。		